

科目名	私の研究テーマと研究方法	2 単位
担当教員	斉藤 雅茂	
科目のねらい	この科目は、全研究科が合同で開講する大学院統一導入科目である。大学院で研究を始めようとする院生に本学の教員が取り組んでいる研究テーマやそれに応じた研究方法を紹介する。また社会連携の視点から一般市民の皆さん、これから研究者をめざそうとする方々、実務関係者、そして学部学生にも広く公開している。各教員がルー形式で、自分の研究テーマ、研究の背景、問題関心、研究方法、あるいは研究者としてたどった道筋などを解説する。扱う領域は福祉、心理、経営、開発など多岐にわたる。本学教員の研究に直にふれることで研究の楽しさの一端を知るとともに、それぞれの研究の切り口へのガイドとしてほしい。	
授業の 進め方	04月12日(月)	
	6 限 18:25-19:55	斉藤雅茂 オリエンテーション
	04月26日(月)	
	6 限 18:25-19:55	吉村輝彦 これからの地域づくりをどのように捉えていくのか：実践と理論の往還
	7 限 20:05-21:35	青木聖久 精神障害がある人のきょうだいが学びによって得られる新たな景色 —SCAT を用いた分析を通して—
	05月10日(月)	
	6 限 18:25-19:55	末盛慶 生活戦略概念の可能性 —科学の役割を考える—
	7 限 20:05-21:35	伊藤美智予 高齢者ケアにおけるクオリティ・マネジメント—私の研究ポートフォリオ—
	05月24日(月)	
	6 限 18:25-19:55	中村強士 子どもの貧困と保育ソーシャルワーク
	7 限 20:05-21:35	山田壮志郎 日本における貧困問題と生活保護
	06月7日(月)	
	6 限 18:25-19:55	木全和巳 しょうがいがある人たちへの性と生の支援の源流を求めて 糸賀一雄「性教育」論考(1965)を読み拓く
	7 限 20:05-21:35	吉野真紀 性別違和に悩む方々の心理的特徴と心理臨床的支援 —GD 包括医療における心理アセスメントを通して—
	06月21日(月)	
	6 限 18:25-19:55	宮腰由紀子 看護活動に資するための分析
7 限 20:05-21:35	綿祐二 福祉施設の人材育成～理論と実践の融合と乖離～	
07月5日(月)		
6 限 18:25-19:55	小國和子 ダイバーシティ時代のエスノグラフィー ～農村開発から「生理の話」まで～	
7 限 20:05-21:35	鷲野明美 刑事司法とソーシャルワークの連携 —高齢者犯罪への対応に関する日独比較研究—	
07月12日(月)		
6 限 18:25-19:55	小松理佐子 人口減少社会の社会福祉モデル—委嘱型ボランティアの検証	
7 限 20:05-21:35	渡辺崇史 生活を支援するテクノロジー ～ユーザー中心設計とアクセシブルデザイン～	
事前学習の内容 学習上の注意	各講義の最後に、コメント用紙を提出すること。	
テキスト	なし	
成績評価 方法と基準	出席 50 点、レポート 50 点で 100 点満点。60 点以上を合格とします。 レポートは全 15 講義のうち、少なくとも 2 講義を選んで、それぞれについて(単なる感想でなく)「講義から学んだこと」を所定の用紙に1講あたり1枚に書いて、全 15 講義終了後に所定の方法で提出してください。 なお、原則として、当該講師にレポートのコピーをお渡しますので、コピーしにくい薄い鉛筆は避けること。 また、出席は、講義ごとに提出いただくコメント用紙で確認します。	